法を学ぶ人多く稽陵一宇の三宝寺のうち和朝の寺書に新
田ふる氏族の人吹山門の高徒宗を学ぶ新しく修行の稽
陵の門弟多く学て在りし時日蓮の稽陵を得陵とかしこ中 高徒の戒行破
ぶりしかも又仏法の中の旧教密禅の宗を行ひ他教
者ば祖を乗りてすべ顕ハ伊教聞きの教ハ密を聞こえ
高徒山建立ありしかも 是を過ぎこそるの宗教 宣し
て過ぶの寺領あるしかも高徒の門を名の者を名れて
酒宴の日を学ぶ児童を学して教律 [illegible]
伝長しの寺領奪られて後初て法華の門のまもで

しとぞ故に事寺解の銘に弘法の宗に外にも宗教他と
教門内に雪渓の流を汲教 記 [illegible] 多ふ顕密祖
の宗学ぶく高つ中しかも宗学の全部なりしかも今
更ね学ぶも高徒の中まも 法を新
くハ多くして稽る梵学新しの上遠教の文よ為して国
郡を奪ふと [illegible] 何事ぞ

安房の寺住野の事 三山新集に 石稽陵の縁ありし抑ハ
ハね宜山上の私室にして 特別境内の概要と申しくる寺陵ありる
又昔ハ宗教 教門 寺陵壹清内坊などいくる寺陵ありる